

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 藤村 敏幸

山名	ニュージーランドのトレッキング	山行名	主に4コース		
ルート	Tongariro、Mt. Ruapehu、RouteBurn、Sealy tams				
山行日	令和6年2月17、18、21、23日	天候	晴れ		
参加者	CL: 藤村 SL: 西川 木田 佐々木 山下 和田 牧之瀬 蒲田				
行程	Trekking コース名	登山口発	下山口着	歩行時間	
	2/17 Tongariro 北島 (start/1,120m ~ peak/1,886m ~ end/800m)	8:30	18:15	9:15	
	2/18 Mt. Ruapehu 北島 (ゴンドラ降口/2,000m~2,500m 往復)	10:30	15:30	5:00	
	2/21 RouteBurn 南島 (shelter/470m~Falls Hut/980m 往復)	10:10	18:10	8:00	
2/23 SealyTams Track 南島 (CampGroud/800m~1,500m 往復)	7:50	15:00	7:10		
<p>Tongariro のルートは、この国一番の人気コースで多くの登山客が列をなして歩き、同年配の登山者と、登り道を抜きつ抜かれつつ、ジグザグの道を互いに挨拶を何回も交わしながら登る。頂上付近は広い荒地で、Mt. Nagaruhoe の麓の池は干上がっていた。Red Creater の下りは急な砂地で腰を屈めゆっくりと下ると、遅い CL を置き去りに多くの人が自由にどんどん先へ行き、Blue Lake View Point で平然と待っており、当会の歩き方のルール「歩行は遅い人のペースに合わせる。」を守るよう注意をする。</p> <p>Mt. Ruapehu は、道標はなく、YAMAP の地図や先に行く登山者の姿を頼りにルートを模索しながらの登山になり苦労した。帰りのゴンドラに乗れる時間を逆算して、登れるところまで進む。Load of the Rings で滅びの山として登場した通り、何もない岩だらけの山でした。</p> <p>RouteBurn は、東側の Shelter から入山する。このルートの最高地点の Harris saddle に登る予定で、まだ暗い早朝6時に宿を出発する。登山口を歩き始めると、登り口をDOCの職員が塞いでいた。尋ねると空中から薬剤を散布するので、3時間ほど通行止めであると話した。何と運の悪いことかと嘆く。10時によりやく解除された。道はよく整備され歩き易く、途中にはトイレ専用小屋までありさすが trekking 王国と感心した。天候もよく午後も崩れそうもないので、午後2時30分頃まで登り Falls 歩き小屋に到着して素晴らし溪谷美を堪能する。</p> <p>Sealy tame は最初から階段の急坂で、延々と天望台まで続く、展望台からは、氷河に覆われた HoddleStone と雄大な Mt. Cook を眺めることができた。</p> <p>NZ は物価が高く、毎日スーパーに買い出しをして、内食を作った方、そして町から町へ長い距離を不慣れなレンタカーで運転した方、皆様のお陰で無事帰国でき、感謝しております。</p>					
ヒヤリハットなし					

2月14日 (Auckland 観光)

木田

レンタカーでオークランドの街全体を見るために対岸の「タカルンガ / マウント・ビクトリア」へ行き、港を隔てたオークランドの眺望を満喫。タカプナビーチで昼食後、ショッピング・センターで両替。「マウント・イーデン自然保護公園」では、逆方向からのオークランドの街を遠望し、スカイタワーからは見えない眺望に大満足。

2月15日 (Auckland から Taupo)

木田

この日の日程はタウポの街まで300km近くを走る。日本の国土の約3/4しかないにもかかわらず、地平線が見えそうなくらい草原が広がる風景の中を、高速道路並みの制限速度100km/hrで疾走する。都市間には信号が無く、疲れることもなく、いつまでもハンドルを握っていたい思いで快適なドライブを楽しむことができた。

詳細な計画を策定いただいた CL さん、少ない予算にも関わらず美味しい食事を作っていただいた

皆さんに感謝いたします。



Auckland市街



Mt. Eedan



Lake Rotorua



Red Crater

2月17日 (Tongariro Alpine Crossing)

山下 晴れ

本日は北島でのトレッキングの目玉。週末には世界中から週末の日には数百人が来るといふ人気の日帰りコース。天気良好で、気温15度位の朝6:45分に宿を出て駐車場に8:00到着。ここから登山口までシャトルバスに乗り換える。未舗装のホコリ道の中、乗車25分で約6000円弱。乗らないわけにはいかない仕組みにしてある。約780mの登りを3時間強で登りきると1km四方はあろう平地に出会う。阿蘇山の草千里に似た光景だがスケールがでかい。富士山そっくりの赤肌のMt.トンガリロを眺めながら昼食休憩(12:00~12:30)。少し登りきると、眼下にブルーブルーの3~4個の火山湖。湖に向かっての急な下りは火山石のザレ場で慎重に下ること20分。休憩をとりながらゆっくりと1100mを下る。最後は森の中、溪流の音に癒されながら全員無事に18:15駐車場に着いた。コース全体はしっかり整備されていて道迷いの心配は無い。所要時間9:15。歩数4万歩。19km。(山下 記)。

2月18日 (Mt Ruapehu)

佐々木

宿から100kmの距離をスイスイと走りゴンドラ駅へ。10:00始発のゴンドラにいの一番に乗りこむ。厚かった雲が晴れてラッキー。道は岩ばかり、歩きにくくルート表示もなく迷いながら上を目指す。適当な所でU-turn。足取りはゆっくりで楽チン。山歩きをしていると日本人なら「頑張ってる」と言うところを“Enjoy”“Have a nice day”と言葉を交わしていくのが面白い。



Emerald Lakes



Taupo宿泊先での夕食



Mt. Ruapehu登山途中



Mt. Ruapehuの岩肌

2月19日 (Taupo から Wellington)

佐々木

近くのSpa Thermal Parkへ。遊歩道を歩いて行くとここはHuka Fallにつながっていて以前訪れた記憶が蘇ってくる。清流が轟音をたてながら流れていく。その後一路Wellingtonを目指す。市街地に近づくと交通渋滞、ホテルは簡単に見つかったが駐車場のことでひと苦労。周辺をグルグル、駐車場は狭く停めるのに運転手は難儀する。

2月21日 (Routeburn Track)

和田

6:00真暗で星空が見えるホテルを出発。雪の山々が連なる朝焼けの道路を走ってルートバーンシェルトアの駐車場に7:22到着。早めに出発してさあスタートの地点に背の高い職員と思しき男性が立ちはだかっていた。ヘリコプターでポイズンを撒くので2~3時間は入山できない。えー!?と出鼻をくじかれ、待つこと3時間弱の10:10にやっとのことでスタート。雲ひとつない青い空、苔蒸して太い木々と巨石の溪流に沿って緩い登りが続く。

これまでの茶色や赤が主の景色と違って日本のどこかを思い起こさせるような、それでいて雄大なエメラルドグリーンの流れは感動に値する。つり橋の元で昼食後少し行くと、13:00ルートバーン・フォールズ・ハットへの登り口。そこからは傾斜が大きくなり、キャンプも禁止域になる。広大な河原に感動し、山小屋から見た扇状のその広大な河原と向こうに見える山々はさらに感動も

のだ。14:20 滝に到達、そのすばらしさを満喫し整備されたトレッキングコースを 18 : 00 無事下
 口に戻った。CLはじめ皆さんに感謝です。



TaupoのHukaFalls



Wlgの国会議事堂前



RouteBurnの橋



RouteBurn Falls小屋

2月22日 (Queenstown から Takapo)

牧之瀬

前日のルートバーンでの登頂口出発時間のずれで下山が遅くなった為、今日の出発を 8 時に変更。
 国道 5 号線をテカポに向けての車窓から見えるのは只、平原と茶つけた山々が、不思議と宮崎駿監
 督の世界を想像させると、左手に乳白色帯びたブルーのプカキ湖を手前にマウントクックがその姿
 を見せ、その白く聳え立つ姿に神々しさと美しさに見とれて車を止め昼食。その昼食は男性陣によ
 るキャベツ千切り炒めサンドイッチ、ご馳走さま。さらに車はひたすら今日の目的地・テカポめが
 けて走る。長時間の運転手さんに感謝するばかりでした。当初、予定していたジョンサミットは明
 日の早朝マウントクック国立公園トレッキングを控えているので中止。計画遂行に尽力頂いた藤村
 さん初め、同行の皆様のお蔭で 2 週間があつという間に過ぎました。有難うございました。

2月23日 (Sealy Tarns Track)

蒲田

NZ 最高峰 Aoraki/Mt.Cook (アオラキクック) を見ながら MuellerHut (ミュラーハット) ルー
 トを歩く。5 : 55 ホテル出発。車中から雪渓の残ったクックが赤く染まるのが見える。7 : 50 登山
 開始。登山道は整備された階段状、登るにつれてクックがだんだん大きく間近に見えてくる。10 :
 10 SealyTarns (展望台) 到着。眼下には湿原、川そして真横にはクック！(下山時ここで小さな池
 に映った逆さクックを撮影) ここからは整備されていない登山道に。ガレ場も増える。11 : 15 稜
 手前の斜面で、素晴らしい眺めの中昼食。11 : 30 荷物を置き希望者 2 人で稜線へ。12 : 00 登りき
 った反対側は深い谷、そしてますます大きく見えるクック (写真に入りきらない)。12 : 30 合流後、
 12 : 50 出発。13 : 30 展望台、15 : 00 下山。



RouteburnFlats



LakePukakiから眺めるMt. Cook



朝焼けのHoddlestoneGlacier



Tekapo宿泊先



善き羊飼いの教会



逆さMt. Cook



Christchurch市街